

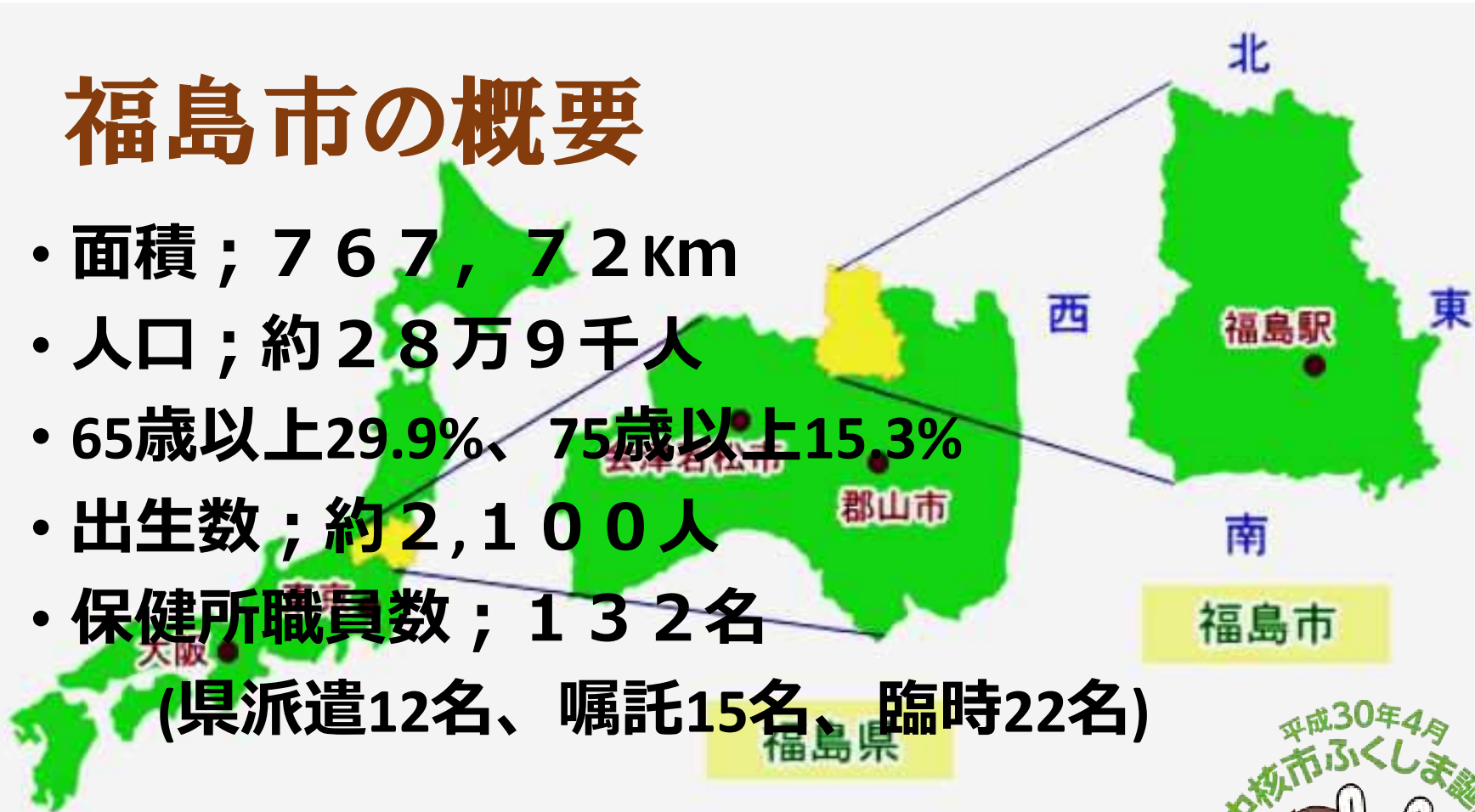


# 県型保健所から新設の 中核市保健所に異動して

福島市保健所  
中川 昭生

# 福島市の概要

- 面積 ; 7 6 7 , 7 2 Km
- 人口 ; 約 2 8 万 9 千人
- 65歳以上29.9%、75歳以上15.3%
- 出生数 ; 約 2 , 1 0 0 人
- 保健所職員数 ; 1 3 2 名  
(県派遣12名、嘱託15名、臨時22名)



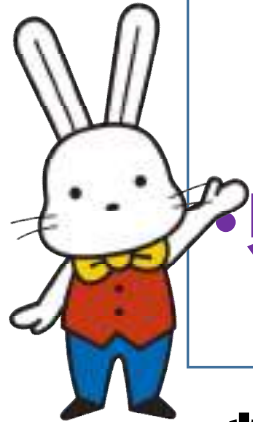
- H30年4月に中核市移行
- 県内に中核市3つ (いわき市、郡山市)
- 全国有数の果物の産地  
(桃、サクランボ、リンゴ、梨、ブドウ等)



# 福島市保健所の組織体制



# 担当業務



## ・市保健業務

健康増進,成人 & 一部の母子保健  
地域医療(夜間等),放射線健康管理

## ・県保健所からの移譲業務

感染症,難病,医事/薬事,対物保健

一体的に展開

- ・精神保健福祉⇒障がい福祉課
- ・母子保健⇒こども政策課
- ・特定健診⇒国保年金課
- ・地域包括ケア⇒長寿福祉課

← 今後の課題

← 共同で活動

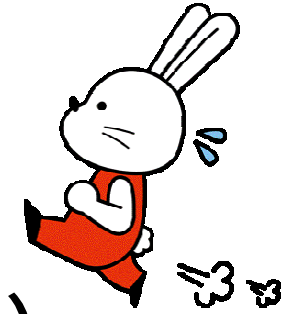
← 保健指導実施

← 地区活動一緒

## 【当面の課題】

健康なまちづくりビジョンの共有と連携体制構築

# 感じていること

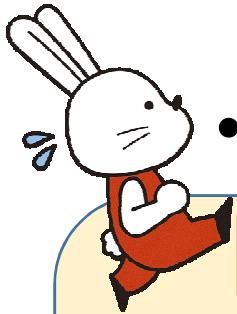


## • 組織体制

- 県保健所や他中核市を参考。影響大きい
- 部内室だが機関として動ける。総務課の存在大

## • 保健所設置の意義

- 見え易いのは移譲業務と専門職（公衆衛生医、獣医師、薬剤師、化学技師等）の存在
- 市民に身近な存在としての期待



## 【当面意識化しておくべき最重要課題】

### ◆ 保健所機能の意識化と構築

- 従来からの保健事業部署の理解・実感と体制整備

### ◆ 市庁の中で機関としての保健所認知

- 感染症・食中毒のみならず、健康づくり、医療、危機管理における役割を実践の中で提示

# 保健所機能の構築に向けて



## 1. 健康なまちづくり

- 理念共有、ビジョン設定、地区活動展開の中で推進

## 2. 専門的・技術的業務推進

- 人材育成、資質向上;研修、専門誌、予算確保

## 3. 情報収集、整理、活用

- 担当部署(チーム)、研修、システムやネットワークの整備

## 4. 調査研究機能

- 地区診断活動の推進、研修(疫学等)、チームの設置

## 5. 地域における健康危機管理拠点

- 研修、指針・マニュアル作成、防災計画との整合性

## 6. 企画調整機能

- 個別事業企画との違い、実践の中で理解・構築